

## 教員免許状更新講習

～学級経営に活かす豊かな体験活動～

### 報 告 書

国立赤城青少年交流の家では、7月27日(木)～29日(土)、8月21日(月)～23日(水)、11月3日(金)～5日(日)の3回、2泊3日の日程で、教育事業「教員免許状更新講習～学級経営に活かす豊かな体験活動～」を開催した。

この事業は、小・中学校の教員が免許状の更新を行なうことと、豊かな体験活動を講義と実体験の両面から理解することを目的として開催した。参加者は、群馬県を中心として関東近県から参加し、3回の講座で、合計77名の参加があった。

本事業の内容は、様々な立場の講師達からの講義を通して体験活動の重要性を理解するとともに、本所で行われている体験活動プログラムを実際に体験する実習をとおして、心身共に体験活動の必要性を実感してもらおうというものである。

<研修の様子>

#### 1日目 午前

(7月、11月)

講義【学校教育の現状と体験活動】

講師：小崎 昭一 氏

前橋市教育委員会事務局 参事兼生涯学習課長

(8月)

講師：長谷川 修治 氏

埼玉県立大滝げんきプラザ 所長

学習指導要領に基づいた、最新の教育事情についての講義を行う中で、参加者に対して本研修の意義や学習指導要領の中での位置づけを提示することができた。体験活動の実習では、自然と触れ合うネイチャーゲームも行った。



## 1日目 午後～2日目 午前

### 講義・実習【仲間づくりのレクリエーション①②】

講師：企画指導専門職 田村 佳之 阿左見 直昭  
研修指導員 佐藤 順子 市川 雄一

1日目の午後から2日目の午前にかけて、仲間づくりのレクリエーションを体験した。当所のあかぎアドベンチャープログラム(AAP)というプログラムから体験学習サイクルを学んだ。仲間と関わりながらアクティビティを「体験」し、体験した時に何があったかを「ふりかえり」、ふりかえった内容を「一般化」し、それをどのように生活に「適用」するかというものである。



## 2日目 午後

### 実習【赤城（大滝）自然体験プログラム】

#### 講義【自然体験活動と子どもの変容】

(7月、11月)

講師：増田 直広 氏

公益財団法人キープ協会 環境教育事業部 事業部長

(8月)

講師：石崎 一記 氏

東京成徳大学 応用心理学部 教授

2日目午後は、7月、11月はキープ協会の増田直広先生より、8月は東京成徳大学の石崎一記先生より「自然体験活動と子どもの変容」という題で自然体験活動がどのような子どもの変容をもたらすのかという講義をいただいた。また、赤城では森を使った自然体験活動、大滝げんきプラザでは森の中でネイチャーゲームを行なった。仲間と関わりながら進めていくアクティビティ、自然と関わるアクティビティを行った。



## 2日目 夜

講義・実習【野外炊事】(夕食)

(7月、11月)

講師：企画指導専門職 梁河 昌彦

(8月)

講師：板橋 英生 氏

埼玉県立大滝げんきプラザ 担当課長

午後は、「野外炊事」の講義・実習を行った。野外炊事は当所で多く行われているプログラムで事故の危険性も他のプログラムより高い。野外炊事のリスクマネジメントについて講義を受けた後にグループごとに実習を行った。



## 3日目 午前

講義【学校教育における体験活動の意義】

講師：小林 道正 (こばやし みちまさ) 氏

国立青少年教育振興機構 研究センター 客員研究員

3日目午前は小林道正先生による講義「学校教育における体験活動の意義」を行った。参加していた先生達はこの講義によって、この更新講習自体が体験活動の流れに沿ったプログラミングがなされていることに気づき、体験活動の意義についてより深く知ることができた。



## 3日目 午後

実習【クラフト】

講師：企画指導専門職 梁河 昌彦

最後にクラフトの実習を行った。クラフト一つとっても様々なねらいで取り組むことができるという説明をし、今回は写真を見て3日間の活動の思いを共有しながらフォトフレ

ーム作りを行った。隣の人と話しながら作成する人、創作に熱中する人など思い思いに作品を仕上げていった。



## 成果と課題

### 成果

- 赤城の教員免許状更新講習の良さは口コミで広がっており、特に7月開催分については、申し込み受付開始40分で昨年度より定員を増やしたにも関わらず、一杯となった。
- 「仲間づくりのプログラム」、教室で行えるAAPは参加者から「明日からすぐにでも使いたい」、「学校に戻ったらやってみたい」という意見をたくさんいただくほど好評だった。
- プログラム全体を貫く、「体験活動の重要性、交流することの良さ」に参加者が気づき、その良さを参加者同士で共有できた。

### 課題

- 昨年度の12月、今年度の11月ともに人数が集まりづらく、募集定員を満たすことができなかった。2学期の真ん中の忙しい時期や、冬休みだと、参加したいと考える先生が少ないことが推察できる。また、この時期は夜の野外炊事がとても寒い。開催時期や内容について検討を行う必要があると考える。

担当：企画指導専門職 田村 佳之